

事務事業名	公民館管理費										担当課	部課名	生涯学習部片瀬公民館			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	02	細目	001	説明	01	課等の長	横田 淳一	電話	6264

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	任意自治事務										
事業概要	公民館の円滑な運営・管理のための施設等の維持管理。																
対象	1. 個人	市民														433,060	人
根拠法令等	法律等	社会教育法, 地方教育行政の組織及び運営に関する法律, 藤沢市公民館条例															
事業実施内容	適切な施設・設備等の管理を行い, 利用しやすい環境を整えた。																
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : (有)工匠, 篠原電気管理事務所) (委託等内容 : 片瀬しおさいセンター庁舎管理, 自家用電気工作物保安管理) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()																

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 15,347 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需用費	8,712 千円	施設修繕, 光熱水費
		役務費	426 千円	電話料金, 植木剪定手数料
		委託料	6,122 千円	片瀬しおさいセンター庁舎管理, 自家用電気工作物保安管理
使用料及び賃借料	87 千円	印刷機, 電話機		
財源内訳	R元年度 支出済額 15,347 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料	2,425 千円	
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 (光熱水費実費収入)	83 千円			
一般財源	12,839 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	0.15
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.15

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
コスト 支出	行政費用 A	31,431	29,990	29,065	29,374			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	18,811	17,459	16,512	16,805			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	16,882	16,009	15,067	15,347			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	1,929	1,450	1,445	1,458			
	①職員給与合計(常勤)	1,820	1,383	1,375	1,371			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	109	67	70	87			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	12,620	12,531	12,553	12,569			
	①減価償却費	12,627	12,569	12,569	12,568			
	②退職給与引当金繰入額	-7	-38	-16	1			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	73.94	425,105	70.15	427,501	67.70	429,317	67.83	433,060

成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		施設等の維持・管理を目的とした事務事業のため、指標の設定はできない。							
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-		-		-		-		-

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）
 ※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額
 ※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	片瀬しおさいセンターは供用開始から23年を経過し，設備の老朽化や樹木の計画的な管理に課題がある。利用者の安全性・利便性・快適性の確保が必要である。
(2) (1)解決のための今後の取組	施設の安定的な運営のために，計画的な補修の実施や管理計画の策定及び予算要求を行う。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	庁舎管理において，一部施設の修繕を行い適正な施設整備を行い利用しやすい環境を整えた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	今後も引き続き円滑な公民館運営を図ることができるよう，必要な維持管理を行っていく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
11	公民館使用申請に関すること	無	無	1	
11	公民館使用料に関すること	無	無	1	
11	公民館使用取消申請に関すること	無	無	1	
11	片瀬しおさいセンター施設修繕に関すること	無	無	1	1
11	片瀬しおさいセンター総合庁舎管理業務委託に関すること	無	無	1	3

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。
 ※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2020.8.24
----	-------	----	-------	-----	-----------

成果実績	指標名	公民館事業参加者数	目標	15,038	単位 人	14,908	単位 人	12,947	単位 人	15,330	単位 人
			実績	16,976	単位 人	12,825	単位 人	16,206	単位 人	15,211	単位 人
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			477.38		717.35		548.87		592.27		

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1)	令和元年度末時点の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地理的に公民館に出向きにくいこと ・高齢化率が高く，今後も高齢化が進むことが見込まれる ・コロナ禍においての事業実施の工夫
(2)	(1)解決のための今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・地区内の市民の家を利用した移動公民館を実施 ・健康増進をテーマとした講座の実施 ・感染防止を行いつつ実施可能な事業について検討を行う。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	様々な分野の学習提供及び自主的な活動の場の提供を行い，市民の多様な学習要望に応えた。	
	事業の方向性	現状維持
今後の方針	地域の課題を把握し解決するための人材や資源を育成できる事業を行う。新型コロナウイルスの感染拡大防止を図りつつ，生涯学習機会の提供を行えるよう，事業企画の工夫や検討を行う。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
11	公民館使用申請に関すること	無	無	1	
11	公民館使用料に関すること	無	無	1	
11	公民館使用取消申請に関すること	無	無	1	

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2020.8.24
----	-------	----	-------	-----	-----------